

令和5年度 第1回小平市公民館運営審議会 会議要録

1 開催日時

令和5年4月11日(火)午後2時から午後4時まで

2 開催場所

小平市中央公民館 講座室2

3 出席者

小平市公民館運営審議会委員 9名(Zoom参加者2名含む)欠席3名

事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、分館担当係長 9名

4 傍聴者

なし

5 配布資料

資料1 令和5年4月1日付 人事異動

資料2 令和5年度公民館定期講座等実施状況表

資料3 令和5年度公民館関係予算

資料4 令和5年度公民館事業企画委員会開催日程

資料5 令和4年度第6回小平市公民館運営審議会 会議要録

参考資料 令和5年度公民館まつり等日程表(予定)

6 議事

(1)館長報告

(2)令和5年度 小平市公民館定期講座等について

(3)令和5年度 東京都公民館連絡協議会について

①令和4年度の報告について

②令和5年度の定期総会について

(4)令和5年度公民館関係予算(案)について

(5)その他

①事業企画委員会の開催日程について

②令和5年度の小平市公民館運営審議会定例会について

(以下、小平市公民館運営審議会は公運審、東京都公民館運営審議会は都公連という。)

会議の概要

1 館長報告

(1) 令和5年4月1日付人事異動について

資料1に基づき、説明する。

(2) その他

5月の公運審自主研修会は、公共施設マネジメント課から再開発事業に関連する進捗状況等について、説明が行われる予定。

2 令和5年度 小平市公民館定期講座等について

資料2に基づき、講座の目的及び事業企画委員会の概要について説明する。

事務局(中央公民館)

(1) ジュニア大学について

地域の多様な団体と連携を図りながら、様々な体験を通じた地域への興味・関心を深めるきっかけづくりにつながる講座を実施すること目的にしている。令和5年度は、小学生が市内の大学の教員・学生から教わる体験プログラムを実施するため、武蔵野美術大学に講師派遣を依頼している。夏休み期間中に、全4回で小学生に作品を完成する内容を予定し、講座終了後も継続して学ぶ仕組みを検討するため、大学と調整をしている。

(2) シルバー大学について

概ね60歳以上を対象に、健康寿命を延ばし仲間づくりなどの楽しみを持ちながら地域の課題に目を向け、課題に取り組むきっかけづくりを目的にしている。令和5年度は、地域活動リサーチを中心に令和4年度よりも1回多い25回を予定している。定員は、最大30名程度を予定している。

(3) 文化教養講座(源氏物語の時代の貴族と女性たち)について

女性セミナーとして実施する。2024年のNHKの大河ドラマが源氏物語の作者である紫式部を主人公に作成されることから、平安宮廷社会における貴族や女性たちが生き抜くためのノウハウを学び、源氏物語の魅力を知るという観点で、津田塾大学の教授に全4回を予定している。本セミナーは、様々な方に受講してもらうため、令和5年度は3コースを予定している。

(質疑応答)

細江委員

ジュニア大学の講師を武蔵野美術大学に依頼しているが、視覚伝達デザイン学科の学生になるのか。

事務局(館長補佐兼事業担当係長)

当該大学の地域連携の部署に相談をしている。講座終了後の継続を見込むため、大学サークルの学生が行う可能性もある。詳細は、後日決定する。

事務局(小川公民館)

地域支援講座は、折り紙サークルと連携し実施する。

減少傾向にあるサークルであるため、事業企画委員に相談して地域支援講座に位置付け、会員増強を目的に実施する。

事務局(花小金井北公民館)

講座の目的及び効果は、講師と相談し、「アートのある暮らしを楽しむ。一緒に学び、一緒に楽しみ、一緒に生きる。一つの題材(モチーフ)をみんなで描き、各々の個性あふれる表現を楽しむ。」と定めた。講座では、果物、花など違う一つの題材を描き、描きあがったものを全員で鑑賞、講評し合う予定である。講座の終了後には、自主サークル化を目指し、昨年受講の抽選結果に問わず、活動の継続を見込んでいる。

その他、脳トレを意識した「シニア講座 シニアリトミック」など10の講座を予定している。

事務局(上宿公民館)

講座の目的は、少子化及び核家族化の進行や地域社会の構造変化などの子育てをめぐる環境変化を受け、地域での子育て支援として、子育て中の親の孤独感や不安を払拭するため、受講者同士のコミュニケーションを大切に家族や地域で子どもと一緒にパン作りを楽しめる講座の運営を行う。

第47回上宿公民館まつりを5月20日(土)・21日(日)に予定している。一日目にハーブ奏者による音楽会の開催予定している。各サークルの日頃の練習の成果の舞台発表や作品の展示を予定している。体験コーナーでは「指圧同好会」による指圧の体験を予定している。

事務局(上水南公民館)

市内の散策により、健康寿命を延ばし地域への愛着を育むことを目的にしている。散策の経路で、草花や風景等の写真を撮影することで歩く以外の付加価値や楽しみを見出すため、スマートフォンによるカメラの撮影術を学ぶ内容を盛り込んだ。

玉川上水の近くにある当館では、主に玉川上水の歴史を学ぶ街歩きの講座を設けている。今年度は3回目となる。毎回、内容が重複しないように事業企画委員会で検討を行っている。

事務局(小川西町公民館)

小川駅西口地区第一種市街地再開発事業について、「関心があるが関わり方がわからない」「講座を通じて地域の方々と関わりを作る必要があるのではないか」という意見を受け、再開発事業に関連する講座を設ける。講座の目的は、講座を通して興味関心の醸成、これまでの取り組みや今後の展望、地域住民が参画できること等を伝えて講座終了後も継続的に再開発に関わることとする。再開発後の建物に入居する団体を管轄する市民協同・男女参画推進課でも講演会を実施する予定であり、コラボレーションを検討している。

(質疑応答)

多田委員

上宿公民館のまつりについて、新型コロナウイルス感染拡大防止により小・中学生の発表を控えていたが、今後どのように各館で行うのか教えてほしい。

事務局(上宿公民館)

例年は、学区内の小学校で実施している放課後子供教室から、上宿小学校はよさこい、小平第十二小学校は和太鼓くらぶ、中学校の部活動から小平第五中学校は吹奏楽部が参加している。今年度の開催に向け、各学校に依頼し、上宿小学校からよさこいの参加を受けた。参加の可否については、感染状況等を見極め、学校の判断によるものである。参加の依頼については、今後も積極的に継続していく。

事務局(館長補佐兼事業担当係長)

令和5年度は12の定期講座を予定しているが、公民館まつりを5月27日・28日に予定しているため、定期講座の開設は6月以降になる。入門競技カルタは、昨年度の事業企画委員会の中で、小学校長から企画の提案されたものである。

講座実施の目的を検討する中で、当初、当館の和室を活かすこと及び子ども達の学びや交流の機会を設けるから、多世代の交流を目指す、文化・教養講座の充実を図るといった観点から、講座開始段階では、大人向けに文化・教養講座として全3回で実施することとした。講師は、現在市内の小学校に教員の紹介を依頼している。講座の終了後、ジュニア向けの競技カルタの体験講座を実施するとともに、和室を活用した世代を問わずに参加できるような競技カルタのイベントなどの実施を検討している。

事務局(仲町公民館)

8区分8講座を予定している。Links講座では、今般、パソコンやスマートフォン、メールでのやり取りが増えているが、手書きの大切さを学ぶ講座を設け、定期利用団体の絵手紙サークルやかな書道サークルを講師とし、全6回の講座を予定している。その他の講座は順次計画をしていく。

また、5月20日・21日になかまちテラスまつりを予定しており、新型コロナウイルス感染拡大防止により規模を縮小していたが、今年度は規模を感染拡大前に戻して実施することを予定している。初日に音楽会「スチールパンうきうきコンサート」の開催や近隣の小学校2校及び高校・大学と連携をしながら、展示や舞台発表を行う予定である。近隣の幼稚園等からも作品を借用し、親子で参加が見込める企画をしている。

事務局(津田公民館)

事業企画委員及び定期利用団体、講師からの提案を募集する。今年度は「初心者のための三味線教室」及び「百人一首を筆で書いて書道文化に親しみましょう」の講座を設ける。「百人一首を筆で書いて書道文化に親しみましょう」は、崩した文字を題材として、取り上げる予定である。自宅でも継続できる内容になっており、講師は花小金井地区で書道教室を開いている方で、公民館でもサークル活動をされており、講座終了後、受講者のサークル化にも協力が得られるため、今後の活動の継続も検討していきたい。

事務局(大沼公民館)

事業企画委員会で講座の企画検討している。学校給食に関する講座が数案挙げられた中で、学校給食を実践的に学ぶ講座を決定する。学校給食栄養士を講師とし、全3回で調理実習を中心に食育等を学ぶ予定である。小学生の保護者等の参加を予定している。

事務局(鈴木公民館)

新型コロナウイルス感染拡大防止により、外出を控えるシニア世代の運動不足を解消するため、積極的に外出をしたくなるようにメイクや衣服のカラーコーディネートを学ぶ講座を企画する。感染拡大防止の緩和や見直し及び外出しやすい最適な時期の5月に設定する。講座を通して、本人や家族が健康維持につながることを期待している。

(質疑応答)

堀内委員

大沼公民館の防災生活安全講座の内容を知りたい。仲町公民館まつりは、近隣の小学校の作品展示の他、近くの子どもの参加を見込んでいる。各館で行われるまつりの企画に、まつり当日、気軽に多くの子どもが参加できる企画を検討してほしい。

事務局(大沼公民館)

小平第七小学校の避難所運営マニュアルが昨年度完成した。小平第七小学校の地区隊を中心に避難所運営マニュアルの講座を昨年行っており、それを基に公民館向けに行うことになった。避難所の役割、施設の確認等をしながらマニュアルの内容及び小平市の防災の体制等の解説する講座を行う。今年度7・8月に避難所の把握及び情報共有として、学校の視察を検討している。

事務局(仲町公民館)

今年度は、子ども向けのワークショップとして、職業能力開発大学校とロボットアームづくりやお菓子作り(アイシングクッキー)やアクセサリ作り、地域教育コーディネーターの協力の基にバルーンアートを実演や利用者懇談会による綿菓子やポップコーンの販売を予定している。

事務局(上宿公民館)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止したが、事業企画委員会でジュニア講座の充実を図る。

事務局(館長補佐兼事業担当係長)

五小のよさこいの参加の他、物販等も予定している。

田尻委員

保育について伺う。子育て支援講座は、保育がついている。子育て支援に関する講座以外で、保育の希望は可能なのか。また、働く人が自分を守る労働法や若い人の消費者教育(カードの使い過ぎ)など、社会人向けに夜間に講座を受けられるようにならないか。

事務局(館長補佐兼事業担当係長)

保育は、子育て支援に関する講座に問わず、要件が満たされれば利用できる。社会人向けの講座及び夜間や土・日曜の講座実施については、今後、ニーズ等に応じて、事業企画委員会検討する。

3 令和5年度 東京都公民館連絡協議会について

(1) 職員部会

小川分館長から花小金井北分館長に変更

(2) 委員部会

鈴木委員が継続

(3) 定期総会

4月19日(水)を予定

出席者 館長、花小金井北分館長(会長及び副会長は欠席のため委任状を提出)

予定される議事等 令和4年度事業実績及び会計報告

令和5年度事業計画及び予算、その他

(質疑応答)

久米委員

東京都公民館連絡協議会(以下、都公連という。)から町田市と日野市の退会を聞いているが、加盟を継続するよう働きかけ等を行ったのか。都公連が規則等で構成される組織でないため、加盟や退会が任意であれば、区市町村の市民センター等も含めた交流会を催し、都公連組織の拡大はできないのか。

事務局(館長)

具体的には2市の退会について、総会で決定する。退会の意向は、本年1月の都公連役員会において、日野が退会その後、町田が退会すると連絡があった。都公連では、各自治体の決定事項を受け入れないことはできない。退会の理由は、公民館からセンター化によるものではなく、2市の現在の職員体制では、都公連に関する研修や研究大会等の活動や運営に関わることが難しいため退会を検討したと聞いている。今後、加盟市の減少と共に生じる運営の支障が懸念されるため、加盟市の維持や増加及び26市の公民館及び社会教育施設類似施設に連携等について検討していきたい。

久米委員

総会では、職員体制が整わないなら複数市の合同で行い負担を分散する等、都公連の運営に関する課題等を検討してほしい。

事務局(館長)

令和5年度の都公連の運営方針について検討するため、開催される総会の議事等に期待する。

4 令和5年度公民館関係予算(案)について

資料3に基づき、説明する。

(質疑応答)

会長

分館への Wi-Fi 導入は予算化されているのか。

事務局(館長)

設置済みの中央公民館及び仲町公民館以外の 9 館に、今年度ポケット Wi-Fi を設置する予算を計上している。

細江委員

歳出で人件費が、800 万円 (3.9%) 減の理由は何か。

事務局(館長)

配置する職員の若年化が減の主な理由である。

5 その他

(1) 事業企画委員会の開催日程について

資料に基づいて説明した。

(2) 提言について

今期は、諮問はない。前回の提言に基づき、今期の提言を報告する。

(3) 令和 5 年度の公運審について

長澤委員

公共施設マネジメントの関係があるため、関連館での開催と周囲を視察する時間を設けてほしい。

会長

花小金井北公民館または小川西町公民館での開催を希望する。

事務局(館長)

当該館の行事や予約状況を確認及び調整後、いずれかの館で開催を予定したい。

次回は、6 月 13 日(火)午後 3 時より、中央公民館にて開催する。また 5 月 9 日に自主研修会を開催する。内容は公共施設マネジメント課から再開発事業に関連する進捗状況等の説明を予定している。